

甲南大学の8学部

— 伝統を礎に進化する5学部 と 先端的な特色教育を進める3学部 —

甲南大学は国際都市神戸の地にあり、人文科学・社会科学・自然科学の3分野が揃ったミディアムサイズの総合大学です。キャンパスもちょうどいいサイズで、そこにいるだけで異なる学部の学生同士がつどい、刺激し合い、融合する学びのフィールドを実感することができます。

この「ミディアムサイズの総合大学」という特徴を生かし、密度の濃い、質の高い、甲南独自の教育によって、「融合力を磨き、個性を力にできる才幹」を育てます。

8つの学部の詳細は、[大学案内『KONAN in KOBE』](#)、および[ウェブサイト「甲南 ch.」](#)を御覧ください。

「甲南 ch.」では学部・学科の基本情報とともに、教育と学びの「新着情報」を配信しています。

文学部 “書をもって街へ。『ぶんたす』活動中！”

1960年代、劇作家の寺山修司が「書を捨てよ、町へ出よう」と若者に呼びかけました。それは学問の世界に閉じ籠もらず社会に目を向けること。しかし今必要なことは「書を持って街へ」です。文学部の「ぶんたす」プロジェクトは教室のなかでの学びだけでなく、**行動する人文学**を目指し、ワークショップやフィールドワークを積極的に取り入れています。



経済学部 “問題解決力で経済を動かす！”

学生が自分の力で問題を解決する力を養うため、経済学部では「プロジェクト・ゼミ」を実施しています。社会で活躍する卒業生が投げかけた課題を、限られた期間のなかで学生が**調べ、考え、議論して**、自らが最適と考える答えを導き出します。学生の回答は公開授業として行われ、その緊張感のなかで成長していきます。



法学部 “社会で法を学ぶ！ 街のローヤー、育成中”

法学・政治学を修得すると同時に、社会学・歴史学・経済学などの隣接科目を学ぶことによって、社会を洞察する総合的な力を涵養します。

企業人として、あるいは公務員として求められるコンプライアンスに高い意識を持ち、**社会で役立つ知識と問題解決力を備えた人材**を育成します。



経営学部 “理論から実践力を磨く！ 『ビジネス・リーダー』育成中！”

経営学は実学です。大学教育をより実践に近い形で発展させるため、2008年から「ビジネス・リーダー養成プログラム」を実施しています。「ビジネス・プロフェッション・コース」では3ヶ月間フルタイムの就業体験を行い、「グローバル・ビジネス・コース」では4ヶ月間の交換留学を取り入れるなど、開設からこれまでの間で合計300名以上が参加しています。



理工学部 “サイエンスの本質をとらえる力と技術に応用する力！ 理学と工学の融合！”

物理学・生物学・機能分子化学という3つの専門学科を擁し、純粋理学から応用科学まで、興味に応じて多角的にアプローチする力を養います。最新の研究設備を備え、一人ひとりを育てる丁寧な教育によって、自然科学の基礎力の上に創造的な応用力を育成しています。



マネジメント創造学部 “「自ら学び、共に学ぶ」「自ら考え行動する」という学び！”

経済・経営の分野を中心としながら、教養と英語も重視しています。少人数プロジェクト型学習という学び方が特徴です。多面的に考える姿勢、問題解決能力とチームワークを養います。多彩なインターンシップ・フィールドワーク、留学プログラムに参加することができ、総合的マネジメント能力を備えた、社会・世界に貢献できる人物の育成を目指しています。



知能情報学部 “情報通信、人間の知、機械の知を追究！”

コンピュータネットワークやスマート機器、ヒューマンインターフェイスや脳科学、知能ロボットや人工知能といった、現代社会が必要としている技術を教育・研究分野としています。甲南大学のキャンパスを実験舞台としながら魅力的なロボットを開発するロボット学びプロジェクトを推進中です。『漫才ロボット』や『ラジオ体操採点ロボット』などが生まれています。



フロンティアサイエンス学部 “ナノバイオテクノロジーのプロフェッショナルに！”

生物と化学が融合する領域「ナノバイオ」の研究をテーマに、生物と化学の両方の知識や、実験技術を“融合的”に扱うことで、研究や社会に役立つ新しい人材を育てます。少人数教育と丁寧な指導で、実験三昧のカリキュラムを実現し、1年次から「遺伝子組み換え」や「人工甘味料の有機合成とクロマトグラフィー分析」など、専門的かつ実践的な実験を実施しています。

